

警 察 署 協 議 会 会 議 録

門司警察署協議会

開催年月日時	令和5年9月21日 午後4時00分 から 令和5年9月21日 午後5時30分 まで	
開催場所	福岡県門司警察署3階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下10名
	警察署	署長、副署長、総務課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、警備課長、交通課長
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶】（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お忙しい中、第2回門司警察署協議会に出席いただき、御礼申し上げます。 ○ 前回は、制服警察官の装備を着装させていただき、あのような重い装備を身に付けながら、犯人の制圧等いろいろな場面で活躍している警察官に心から感心すると共に、これからも尚一層努力していただければと思う。 ○ 皆さん、健康には十分注意していただき、門司警察署が、福岡県警察の中で一番素晴らしい警察署になるよう、我々も陰ながら支援し、また、いろいろな意見をいただきこの会が益々発展するよう、心から願います。 <p>【署長挨拶】（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お忙しい中、お集まりいただき御礼申し上げます。 ○ 先月は、門司警察署として最大のイベントである関門海峡花火大会の雑踏警備があった。 ○ 関係各所の協力もあり、無事完遂することができたが、反省すべき点が全くなかったわけではないので、しっかり検証し、今後に活かしていきたい。 ○ 本日の協議会では、交通課長から、管内の事故状況や、飲酒運転のVR体験等について御報告させていただく。 ○ お気付きになられた点等あれば、率直な御意見を賜り、今後の業務運営に反映させていきたいので、よろしく願います。 <p>【報告事項等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 門司警察署管内の令和5年中の交通事故の発生状況等について <ol style="list-style-type: none"> (1) 死亡事故、重傷事故の発生件数 (2) 発生時間、当時の道路状況等 (3) 交通事故防止に関する教養 (4) 飲酒運転による事故の発生状況 		

議 事 概 要

- 2 高速道路の危険性について
 - (1) 高速道路における事故発生状況
 - (2) シートベルトの重要性
 - (3) 高速道路走行時の注意点
 - ア タイヤの空気圧等の点検
 - イ 車間距離の保持
 - ウ 速度管理
 - エ 積載物の落下防止措置
 - オ 発煙筒、三角表示板の搭載
- 3 飲酒運転の仮想体験（飲酒運転教育用VR）
- 4 飲酒運転容疑車両発見時の110番通報要領
- 5 俊敏性診断（クイックアーム）

【質疑・意見・要望等】

- 委員から、「ドリンクホルダーにビールが置いてある車を見た場合でも、通報して良いのか。」旨の質疑があり、交通課長から「飲酒運転かも知れない、というものでも通報していただきたい」旨の回答があった。
- 委員から、「交通死亡事故等は、コロナ時期に比べて増加していると思われるが、コロナ前の時期に比べてどうなのか。」旨の質疑があり、交通課長から「コロナ時期に比べれば増加傾向にあるが、5年前に比べると減少傾向である。門司警察署管内で言えば、発生件数は減少傾向にあるが、高齢者関連事故の割合は増加傾向にある。」旨の回答があった。
- 委員から、「近くに横断歩道があるにも関わらず、道路を横断する高齢者を良く見かける。そのような歩行者への対策はあるのか。」旨の質疑に対し、交通課長から、「第一は運転者が注意を払うことであるが、存在に気付いてもらうため高齢者に対しては、反射材の装着を勧めている。また、乱横断する歩行者が多い場所でのキャンペーンや、市民センター等での交通安全教室で、歩行者へも注意を促している。」旨の回答があった。
- 委員から「コロナのころから、夜が明ける前の早朝に散歩する高齢者が増えており、そのような高齢者が車道を歩いているのをよく見かけるようになった。反射材の装着を促すキャンペーンを今後も実施していただきたい。」旨の意見があった。

【閉会】

以上で、令和5年度第2回門司警察署協議会を閉会する。